学校番号	111

令和２年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高等学校標準古典Ｂ」（第一学習社）						
副教材等	「やさしくくわしい古典文法」（尚文出版）「読んで見て覚える重要古文単語３１５」（桐原書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・文章を短時間に集中して読み込み、解説を聞く前に自分自身でその文章の概要やポイントをつかむ練習を繰り返し、確かな読解力と幅広い知識を身につけましょう。
・読解に不可欠な古文単語、古典文法(特に助動詞、敬語)、漢文の句形についてマスターすべく、授業ごとにチェックし、各自で反復学習しましょう。
・小テスト、提出課題、定期考査等には、常に学習計画を立てて臨みましょう。

２　学習の到達目標

古典としての古文と漢文、古典に関連する文章を読む力を養い、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典についての理解や関心を深めることによって人生を豊かにする態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b: 話す・聞く能力	c: 書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	古典を進んで学習し、伝統的な言語文化について理解を深めようとしている。			古典などに表れた思想や感情を読み取り、人間、社会、自然などについて考察したり、古典特有の表現を味わったりする態度を身につけている。	古典を読むために必要な、語句の意味、用法、文の構造、文法、音声、表記等を理解し、知識を身につけている。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・課題提出 ・音読 ・暗誦テスト ・感想文提出 ・定期考査			・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・感想文提出 ・定期考査	・発問評価 ・課題提出 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
一学期前半	説話・物語一	・『十訓抄』を読み、登場人物の行動・心情を味わい、和歌の特質を考える。 ・『唐物語』を読み、登場人物の行動、心情を理解する。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、内容を理解し、百人一首などについて調べている。 d:行動心情を読み取る。 e:正しく音読し和歌の修辞技巧を理解している。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査
一学期後半	日記	・『紫式部日記』を読み、思想・感情を読み、優れた感情を味わう。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、日記に接し内容を理解しようとしている。 d:口語訳し、作者の思想や感情を読み取っている。 e:正しく音読し文学史上の基本的な知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査
二学期前半	随筆・物語二	・『方丈記』を読み、思想・感情を読み、優れた感情を味わう。 ・『大鏡』を読み、筆者独自の考え方や物事の捉え方を読み取る。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ、随筆・評論に接し内容を理解しようとしている。 d:口語訳し、作者の思想や感情を読み取っている。 e:本文を音読し、冒頭部分を暗誦し、文学史上の知識を持っている。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査
二学期後半	物語三	・『源氏物語』を読み、登場人物の行動・心情を理解し、敬語・助動詞・助詞の知識を解釈に活かす。	○ ○			○ ○	○ ○	a:古語を調べ全体のあらすじに興味を持っている。 d:口語訳し、登場人物の行動・心情を理解している。 e:文学史の知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査
三学期	漢文	・『史記』を読み、登場人物の行動・心情を読み取り、句形を理解する。	○			○	○	a:句形を調べ全体のあらすじに興味を持っている。 d:口語訳し、登場人物の行動・心情を理解している。 e:文学史の知識を持つ。	・授業態度 ・発問評価 ・音読暗誦 ・課題提出 ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:話す・聞く能力
　　c:書く能力　　d:読む能力　　e :知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。